

都市再生整備計画 フォローアップ報告書  
飯坂地区

平成24年4月

福島県福島市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
指標1	旧堀切邸の交流者数	人/月	1,000	1,700	16,515	確定 ● 見込み	○	あり なし			<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	東日本大震災に伴う原発事故の風評被害等により、観光客は減少しているが、従前値に比べ旧堀切邸の交流者数は大幅に増加しており今後も期待できる。	
指標2	歩行者交通量	人/日	2,462	2,700	2,127	確定 ● 見込み ●	×	あり ● なし ●	2,289	H23年7月	△	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	新波来湯などの拠点施設及び道路・公園等の整備を総合的に実施した結果により、地区全体の魅力が向上し、歩行者交通量の減少に歯止めがかかったことは評価できる。
指標3	イベントの開催数	回/年	5	10	8	確定 ● 見込み ●	△	あり ● なし	12	H24年3月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	東日本大震災に伴う原発事故の対応(避難者支援、除染作業等)を優先し、予定したイベントの開催は困難な状況の中、避難者等を対象としたイベントを含めた各種イベントを開催し、好評を得ることができた。
指標4						確定 見込み		あり なし		H 年 月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
指標5						確定 見込み		あり なし		H 年 月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1	歩行者交通量(鯖湖湯)	人/日	665	/	898	確定 ● 見込み	/	/	732	H23年7月	/	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	東日本大震災発災後の観光客が減少した中で、確定値を測定したため評価値よりも数値は減少したが、新波来湯などの拠点施設周辺では増加傾向にあること及び従前値より増加していることから、今後期待できる。
その他の数値指標2	イベント参加者数	人/年	34,829	/	41,367	確定 ● 見込み ●	/	/	43,000	H24年3月	/	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	東日本大震災に伴う原発事故の対応(避難者支援、除染作業等)を優先し、予定したイベントの開催は困難な状況の中、避難者等を対象としたイベントを含めた各種イベントを開催し、好評を得ることができた。
その他の数値指標3			/	/		確定 見込み	/	/			/	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

## 2. 今後のまちづくり方策の検証

### 様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために 行う方策	整備した施設の活用	観光客へのおもてなしとして、整備した施設の紹介や飯坂の史跡、観光スポットなどのまち歩きを案内するボランティアを養成する講座を実施した。	平成23年度に開催した9回の講座を通じ飯坂地区の魅力が掘り出すことができた。 また、講座には24名が受講し飯坂地区の魅力を発信する案内人が養成された。	平成24年度から案内人によるまち歩きの案内を実施する予定である。 また、地元組織であるまちづくり団体、観光協会等及び他地区の案内人との連携を強化し、観光客に対するおもてなしの拡充を図る。
	観光圏内の交流・連携の強化	飯坂温泉を核に摺上川ダム周辺のエリアと連携し、地域の活性化に向け地域全体で市民協働により取り組むため「飯坂町地域再生計画」を策定。	「飯坂町周辺地域づくり協議会」「摺上川ダム周辺地域づくり協議会」を設立し、情報共有化など連携した取り組みを進めている。	ふくしま観光圏として、さらに広い視野で他地区との交流・連携強化を図る。
	良好な街並みの形成	まちづくり団体の運営を継続し、本地区の街並み形成を図るための景観に関する住民協定を締結した。	民間開発による建築物に関しても、これまでの和風を基調とした良好な街並み形成を図ることができた。	良好な街並み形成を保全するために地域住民やまちづくり団体との連携を強化し、景観に対する住民協定の継続を図る。
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	廃業旅館の利活用の促進	民間開発により、廃業旅館2棟をリニューアルし高齢者向け賃貸住宅に再生させる計画で、平成24年度以降開業予定。	—	—

事後評価シート 添付様式5-③から転記

### 様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項